### 2022 年度

# 特定非営利活動法人みえ防災市民会議

## 総会議案書



日時: 2022年5月21日(土)14:30~15:30

場所:オンライン会議システムによる開催

#### 【議事進行】

議長あいさつ

総会議長選出

総会成立報告

議事録署名人選出

第1号議案 2021 年度事業報告(案) 2021 年度決算(案) 監査報告

第2号議案 2022 年度事業計画(案) 2022 年度予算(案)

報告事項

総会議長解任

閉会

#### <第1号議案>

#### 2021 年度事業報告(案)

(2021年4月1日~2022年3月31日)

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

#### 1 事業の成果

- ○新型コロナウイルス感染症についてなかなか収束が見通せない状況の中、それでも支援を必要とする被災者に適切な支援を届けることができる災害ボランティア活動の実践を目指し、2021 年度事業実施方針として掲げた
  - (1)多分野の連携を見すえた協働事業(研修や勉強会など)の推進
  - (2)新型コロナウイルス感染症に対応したボランティア受援ガイドラインの普及
  - (3)会員に向けたビデオ会議ツールなどのスキル啓発
- に基づいて、Zoom などオンラインを活用した会議システムを中心に事業を継続した。
- 〇コロナ禍においても被災者の命と暮らしと尊厳を守り、被災者の自立復興に寄り添う支援活動を行う ため、みえ災害ボランティア支援センターによる「新型コロナウイルス感染症に配慮した三重版災害ホ ランティア受援ガイドライン」の周知・理解と現場での有効な活用が図られるよう、説明・意見交換会を 開催した。

(みえ災害ボランティア支援センター主催、ゲスト講師:国立病院機構三重病院 谷口院長)

〇県内外の専門性のある NPO やボランティア団体等と連携、情報交換を行い、さまざまな分野における 被災者支援について平時から備えておくべきことについて考え、検討を行っていくため、分野・テーマを 設けて、連携のあり方を話し合うセッションを開催した。

《テーマ》 第1回:子ども 第2回:外国人

特に外国人については、参加者有志でオンラインの連絡会(みえ【多文化×災害×地域】ネットワーク準備会)を立ち上げて、2回のオンライン意見交換会を実施した。

- 2 事業の実施に関する事項
  - (1) 特定非営利活動に係る事業 次ページ以下のとおり。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額(千円)
①防災意識の普	1.行政、社会福祉協議会等が実施	する防災譚	座へ講師	を派遣する	<b>5</b>	
及啓発・市民防災 カ向上に関する 事業	(1) 伊勢市現地協働プラットフォーム会 議訓練・災害ホーランティア入門講 座	7/16 2/5	伊勢市	1名	50 名	
	(2) 東紀州ブロック社協災害時広域連携協議会研修	7/30 11/12	尾鷲市 御浜町	1名	6 名	
	(3) みえNPOネットワークセンター 災害事業勉強会・全県会議	8/29, 10/30, 11/23	鈴鹿市 亀山市 津市	1名	30 名 12 名 44 名	
	(4) コープみえ地域と協働の研究 センター	9/11	ZOOM	1名	20 名	
	(5) 志摩市災害ボランティアコーディネーター養成講座	11/9 12/3,17	ZOOM	1名	60 名	
	(6) 三重県社会福祉協議会災害ホーランティアセンター運営者研修	11/17	ZOOM	1名	40 名	326
	(7) 紀北町自治会連合会防災講 演会	12/5	紀北町	1名	25 名	
	(8) 協創シンポジウム	12/18	ZOOM	1名	41 名	
	(9) みえNPOネットワークセンター グレードアップセミナー	1/25	ZOOM	1名	21 名	
	(10) 南伊勢町災害ボランティアコーディネーター養成講座	1/30	ZOOM	1名	16 名	
	(11) 松阪多気ブロック災害時広域 連携協議会研修	2/24	ZOOM	1名	18 名	
	(12)四日市市防災大学ステップア ップ講座	2/19	ZOOM	1名	30 名	
	2.市町・社協等防災ボランティア養成	<b>津業アドバ</b>	イザー派遣	事業		
	(1) 玉城町社会福祉協議会災害・ 防災ボランティアアドバイザー	5/7,8/5 12/4	玉城町	1名	12 名	25
②防災ボランティアコーディネータ	1.「災害ボランティア協働コーディネ	トーター講座	至(仮称)」	を実施し、	防災人材の	育成をす
一養成に関する		_	_	_	_	_
事業	2. みえ災害ボランティア支援センタ		· 本向け動き	合会を関係	する	L
7-70	支援センターの責務とマニュアル の理解について勉強会を実施	4月	津市	2~3名	支援センター幹事会	0
③防災活動に取り	1.会員向け、県民向けの情報提供	を行い、情報	報の共有化	とを図る		
組む団体・個人と の連携や支援に 関する事業	ホームページ https://www.v-bosaimie.jp/ による発信	通年	国内外	2~3名	会員 県民	9
	2.県外地域との交流・連携を推進す	<u></u> する		· <u> </u>	<u></u>	
	(1) JVOAD全国フォーラム東海 ブロック交流会コーディネーター	5/27	ZOOM	1名		05
	(2) JVOAD災害中間支援組織 全体会(全 6 回)	7/26,9/27, 10/18,11/1, 12/23,3/2	ZOOM	1名		35

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額(千円)
	3.災害時の取り組みに関心がある個		<del>-</del>			)
	- 専門性のある NPO 等と情報交換を行し	ハ各分野にお 	ける被災者: 「	支援を考える 		
	   第1回「子ども×災害×地域」	8/20	ZOOM	5名	県内外 NPO 等	
	第1回1子ともへ及告へ地域] 	0/20	ZOOW	7 7	39名	
					県内外	124
	  第2回「外国人×災害×地域 ৷	9/5	ZOOM	5名	NPO 等	
		0, 0	200111		51名	
	4.会員同士の情報交流が促進され 討する	るような環境	竟を作るた	めにICT		土組みを検
	ZOOM ミーティング環境整備	_	_	_	-	19
	5.災害時に市町等関係機関と協働	で立ち上に	ずる現地災	きボラン	ティアセン	一の構成
	団体として活動する					
	伊賀市災害ボランティアセンター 運営会議	月1回	伊賀市 内	2~3名	_	0
	伊勢市災害ボランティアセンター 運営会議	年1回	伊勢市 内	2名	_	0
④防災にかかわ	1.災害時に県等関係機関と協働で	立ち上げる	みえ災害	ボランティ	ア支援セン	ターのあり
る調査、研究及び	方を検討する					
政策提言に関す る事業	みえ災害ボランティア支援センタ 一幹事会	月1回	アスト津	2~3名	県民	0
	2.みえ県域協働プラットフォームの構	築に向けた	連携団体に	こついて調	査・検討する	5
	みえ災害ボランティア支援センタ 一幹事会	月1回	アスト津	2~3名	県民	0
	被災者支援活動を行う企業に関する調査 (JVOAD 調査事業への協力)	3 月	県内	のべ 3名	県内企業 県	0
	3.市町域協働プラットフォームの構築	薬に向けた	連携団体	について	調査・検討し	、一員とし
	て参画する	ı	T	T	1	1
	新型コロナウイルス感染症に配慮した三重版災害ボランティア受援ガイドラインの説明・意見交換会	6/18	津市	5名	行政•社 協職員 県内外支 援団体等 84名	0
⑤被災者の自立	県内や近隣府県で災害が発生した	 場合、すみ	 やかに支 <sup>:</sup>			l
を支援する事業	_	_	—	_		_
その他事業	みえ県民交流センター外部委員	2/4,3/11	ZOOM	1名		5
	NSL 参加	通年	名 古 屋 市内	1名		0
	三重県ボランティアセンター運営 委員	通年	津市内	1名		0

#### 2021年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人みえ防災市民会議 2021年度 金額(円) 備考 科目 活動予算書 I 経常収益 1. 受取会費 ①正会員受取会費 198,000 204,000 3,000円×68人 ②替助会員受取会費 204.000 0 (入会4名を含まず) 2. 受取寄付金 10.000 ①受取寄付金 10.000 3. 受取助成金等 ①受取民間助成金 0 O 4. 事業収益 ①事業収益 700.000 792.702 講師等派遣•調査 5. その他収益 ①受取利息 48 ②雑収益 0 10,000 812,750 経常収益計 908,000 1,016,750 Ⅱ 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 給料手当 0 法定福利費 0 0 福利厚生費 n 0 人件費計 0 0 (2)その他経費 会議費 20.000 旅費交通費 848,000 27,702 講師派遣旅費 消耗品費 211,000 賃借料 125.000 8.675 サーバー等管理 通信費 40,000 18,277 ZOOM利用料 印刷費 78,000 0 保険料 講師謝金 662,000 477,500 備品購入費 0 0 支払寄付金 雑費 3,850 245,000 その他経費計 2,229,000 536.004 事業費計 2.229.000 536,004 2. 管理費 (1)(管理)人件費 管理)役員報酬 0 (管理)給料手当 0 28,800 (管理)法定福利費 0 0 (管理)福利厚生費 0 0 (管理)人件費計 28.800 0 (2)(管理)その他経費 0 (管理)会議費 5,000 (管理)旅費交通費 0 (管理)消耗品費 10,000 327 (管理)賃借料 13,200 19,500 事務所費ほか 80.000 (管理)通信費 52.330 電話·fax·郵送費 (管理)印刷費 20,000 (管理)保険料 n (管理)講師謝金 0 5,000 (管理)備品購入費 0 (管理)雑費 2,000 1.005 (管理)その他経費計 130,200 78,162 管理費計 159,000 78,162 経常費用計 2,388,000 614,166 当期経常増減額 402,584 Ⅲ 経常外収益 1. 雑収益 0 6,000 6,000 再入会未納会費 6,000 経常外収益計 0 Ⅳ 経常外費用 1. 雑損益 66,000 66,000 66,000 資格喪失10人 経常外費用計 66,000 再入会1人 66,000 当期正味財産増減額 342,584 -1546000前期繰越正味財産額 6,007,790 6,007,790 次期繰越正味財産額 4,461,790 6,350,374

#### 2021年度 貸借対照表

2022年3月31日

6,740,576

#定非営利活動法人みえ防災市民会議金額(単位:円) ### 科目 I 資産の部 1. 流動資産 (1)現金預金 現金 45.612 普通預金 5.594.127 普通預金(災害) 506.837 516,000 郵貯 (2)未収金 未収金 未収会費 78,000 2020会費未納7人 流動資産合計 6,740,576 2021会費未納19人 2. 固定資産 (1)有形固定資産 (2)無形固定資産 (3)投資その他の試算 固定資産合計 資産合計 6,740,576 Ⅱ 負債の部 1. 流動負債 390,202 講師派遣謝金旅費 未払金 前受会費 0 預り金 0 流動負債合計 390,202 2. 固定負債 長期前受会費 0 固定負債合計 負債合計 390,202 Ⅲ 正味財産の部 前期繰越正味財産 6,007,790 当期正味財産増減額 342,584 正味財産合計 6,350,374

負債及び正味財産合計

#### 2021年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2022年3月31日

#### 特定非営利活動法人 みえ防災市民会議

単位円

項目		 金額	<u></u> 里位円
I 資産の部			
1 流動資産 現金·預金			
(1)現金 手元現金 (2)預金 普通預金 百五銀行宮川支店 普通預金 百五銀行宮川支店 振替貯金 ㈱ゆうちょ銀行	45,612 5,594,127 506,837 516,000 6,662,576		
未収金			
未収会費 未収金 	78,000 0 78,000		
流動資産合計		6,740,576	
2 固定資産 (1)有形固定資産 (2)無形固定資産 (3)投資その他の資産	0 0		
固定資産合計	0	0	
四尺貝庄口口			
資産合計			6,740,576
II 負債の部 1 流動負債			
未払金 前受会費 預り金	390,202 0 0		
流動負債合計		390,202	
Ⅱ 固定負債			
長期前受金	0		
固定負債合計		0	
負債合計 正味財産			390,202 6,350,374

#### 計算書類の注記

#### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO 法人会計基準協議会)によっています。

#### (1)資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収会費、未収金、前受会費、長期前受会費を含むこととしています。前期末及び当期末残高は次の3のとおりです。。

- (2)固定資産の減価償却の方法
  - 什器備品は当期対象物が存在しないため計算していません。
- (3)消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### 2. 事業別損益の状況

別紙のとおり

#### 3. 次期繰越収支差額の内容

単位円

		<u> </u>
科目	前期末残高	当期末残高
現金·預金	6,078,401	6,662,576
未収会費	126,000	78,000
未収入金	20,640	0
合計	6,225,041	6,740,576
未払金	214,251	390,202
前受会費	3,000	0
預り金	0	0
長期前受金	0	0
合計	217,251	390,202
次期繰越収支差額	6,007,790	6,350,374

沃沱
8
排
雫
洒
業
栅
αi

事業名勘定科目	①防災意識の普及啓発・市民 防災カ向上に関する事業	及啓発・市民 する事業	②防災ボランティフューディネーター養 成に関する事業	7コーディネーター養	③防災污	③防災活動に取り組む団	組む団体・個人との連携や支援に関する事業	集や支援に関す、		④防災にかかた 関する事業	④防災にかかわる調査、研究及び政策提言  関する事業	IJ	⑤被災者の自 立を支援する 事業		
2019年度 活動予算書の科目	1)県内外への防災講座への講師派遣事業	2) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1)災害ボラン ティア協働コー ディネーター講 座事業	)みえ災害ボランティア支援センティア支援センター幹事団 体向け勉強会	1)会員向け、県 民向け情報提 供事業	2)県外地域と の交流・連携事 業	3)他分野NPO との協働事業 (実施しない)	4)会員同士の 交流促進検討	5)市町現地災害ポランティアセンター事業	1)みえ災害ボラ ンティア支援セ ンターのあり方 検討事業	2)県域協働P構 築に向けた調 査・検討事業	3)市町域協働P 構築に向けた 調査・検討・参 画事業 (実施しない)	1)近隣・地元で の災害におけ る支援事業	管理部門	福
I 経常収益															
1. 受取会費															
①正会員受取会費														204,000	204,000
②賛助会員受取会費															
2. 受取寄付金															
①受取寄付金														10,000	10,000
3. 受取助成金等															
①受取民間助成金															
4. 專業収益															
①事業収益	625,770	46,932				70,000					50,000				792,702
5. その他収益															
①受取利息														48	48
②雑収益														10,000	10,000
経常収益計	625,770	46,932				70,000					20,000			224,048	1,016,750
I 経常費用															
1. 事業費															
(1)人件費															
給料手当															
法定福利費															
福利厚生費															
人件費計															
(2)その他経費															
会議費															
旅費交通費	25,770	1,932													27,702
消耗品費														327	327
賃借料					8,675									19,500	28,175
通信費								18,277						52,330	70,607
印刷費															
保険料															
講師謝金	300,000	22,500				35,000	120,000							5,000	482,500
備品購入費															
支払寄付金															
雑費							3,410	440						1,005	4,855
その他経費計	325,770	24,432			8,675	35,000	123,410	18,717						78,162	614,166
経常費用計	325,770	24,432			8,675	35,000	123,410	18,717						78,162	614,166
当期経常増減額	300,000	22,500			-8,675	35,000	-123,410	-18,717			50,000			145,886	402,584

#### 2022 年度事業計画書(案)

(2022年4月1日~2023年3月31日)

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

#### 1 事業実施の方針

2021年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大下でも支援が必要な被災者に適切な支援を届ける事ができるよう、多様な分野の NPO・ボランティア団体や社協、行政に加え、企業や業界団体なども視野に入れた連携を推進する。

- (1) 多分野の連携を見すえた協働事業(研修や勉強会など)の推進
- (2)ブロック単位での自主事業/協働事業の促進
- (3)災害時に支援活動に取り組むことを志す多様な主体が県域で緩やかに繋がれる場の創出

#### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益者の 範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
普及啓発•市民	1)行政、社会福祉協議会等が実施 する防災講座へ講師を派遣する。	通年	県内外 10ヶ所	のべ 10名	県民 200名	
	2) 行政、社会福祉協議会等の防 災/ボランティア養成事業にアドバ イザーを派遣する。(※1)		県内 3団体	のべ 18名	県民 45名	408
ィアコーディネ	1)「災害ボランティア協働コーディネーター講座(仮称)」を実施し、防災人材の育成をする。(※2)		県内 4回	のべ 20名	のべ 60 名 (学生 20 名)	188
関する事業	2)みえ災害ボランティア支援センタ 一幹事団体向け勉強会を開催す る。		津市	2名	支援センタ 一幹事会	100
取り組む団体・	1)会員向け、県民向けの情報提供 を行い、情報の共有化を図る (広報紙・ホームページ等の作成)	年4回	県内	10名	会員 県民	
	2)県外地域との交流・連携を推進する(ビデオ会議を活用)(※3)	通年	東京都 静岡県 大阪市	2名 2名 2名(D)	県民	
	3)災害時の取り組みに関心がある 他分野のNPO や行政、企業等との 協働事業を実施する。( <u>※4)</u>	1	県内 4回	のべ 12名	県民 120名	483
	4)会員同士の交流を促進するため に、ブロック単位での自主事業・協 働事業を促進する。(※5)	1	県内	2名	会員	
	5)災害時に市町等関係機関と協働 で立ち上げる現地災害ボランティ アセンターの構成団体として活動 する (常設型伊賀市災害VC 他)		伊賀市	のべ 20名 (D)	県民	

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益者の 範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
わる調査、研究 及び政策提言	1)災害時に県等関係機関と協働で立ち上げるみえ災害ボランティア支援センターのあり方を検討する。 (MVSC 幹事団体として参画)		津市	のべ 32名	支援センター幹事会	
	2)みえ県域協働プラットフォームの 構築に向けた連携団体について 調査・検討し、 <u>多様な主体が県域</u> で緩やかに繋がれる場を作る。 (MVSC 幹事団体として参画)( <b>※</b> 6)		県内	のべ 10名	支援センタ 一幹事会 県民	280
	3)市町域協働プラットフォームの構築に向けた連携団体について調査・検討し、一員として参画する。		県内	のべ 30名	県内の NPO・ボラン ティア団体	
立を支援する	県内や近隣府県で災害が発生した場合、すみやかに支援活動に取り組む。(※7)		三重県近隣府県	のべ 100名	被災地の 住民	1,000

#### ※1 アドバイザー派遣事業

県内社会福祉協議会がブロック毎で実施している社協災害時広域連携協議会への連携や市町社協が実施している災害ボランティア/コーディネーター養成事業、災害ボランティアセンター事業などへ積極的に参加していくことで平時から連携を進める。

#### ※2 災害ボランティア協働コーディネーター講座

今年度はビデオ会議などを活用しての実施や、県内外の NPO との共同開催も模索する。

#### ※3 県外地域との交流・連携

オンラインで開催さている様々なフォーラムなどについて積極的に情報収集し、会員に参加を呼びかける。

#### ※4 昨年度も実施した他分野との研修・交流会「〇〇×災害×地域」を引き続き実施していく

災害時に専門的な知見から支援ができる他分野の NPO と、被災者の身近に寄り添って支援ができる地域団体と共に、多様な分野における災害対策を共に学ぶ事で、いざに備えた繋がりを拡げる。

また、今年は協働先として行政や企業にも視野を拡げ、共に学び備える関係性つくりを目指す。

具体化中:鳥羽市と協働で行う「観光×災害×地域」研修・交流会

昨年立ち上げた「みえ【多文化×災害×地域】ネットワーク準備会」も引き続き参加・支援していく。

#### ※5ブロック単位の自主事業/協働事業

コロナ禍が続く中で全県域で会員が集まる機会を持つことが難しくなっているため、ブロック単位での自主事業を促進することで会員同士が学び合う/連携を深める場を作っていく。事業内容は各ブロックで企画・実践するが、 積極的に他団体との連携を視野に入れる。

#### ※6 多様な主体が県域で緩やかに繋がれる場つくり事業

災害時に「県域協働プラットフォーム」に駆けつけてもらいたいNPO、団体、企業、そして行政など多様な主体が平時から緩やかに繋がれる場を用意しておくことで、災害時速やかに実効性ある「県域協働プラットフォーム」が立ち上がることを目指す。みえ災害ボランティア支援センター幹事団体がそれぞれ得意な関係性を活かした事業を行う中のひとつとして、みえ防災市民会議も取り組む。

#### ※7 被災者自立支援事業

新型コロナウイルス感染拡大下、また、ポストコロナ禍でどのような災害ボランティア活動ができるか模索し、ボラパック事業に変わる支援の柱を模索する。

#### 2022年度 活動予算書(案)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人みえ防災市民会議 2021年度 金額(円) 備考 科目 活動計算書 I 経常収益 1. 受取会費 ①正会員受取会費 204,000 216,000 72名×3,000円 ②替助会員受取会費 216.000 0 2. 受取寄付金 ①受取寄付金 10.000 10.000 3. 受取助成金等 ①受取民間助成金 O 0 4. 事業収益 ①事業収益 792,702 855.000 講師派遣料 5. その他収益 ①受取利息 48 0 10,000 ②雑収益 0 865,000 経常収益計 1,016,750 1,081,000 Ⅱ 経常費用 1. 事業費 (1)人件費 0 0 給料手当 法定福利費 0 0 福利厚生費 0 0 人件費計 0 0 (2)その他経費 会議費 20.000 会議研修参加費 旅費交通費 27,702 715,000 講師旅費・参加旅費 消耗品費 210.000 8.675 69.000 サーバー代・会場費 賃借料 通信費 18,277 57,000 携带•郵送•宅配 印刷費 88,000 情報紙・チラシ印刷 O 保険料 講師謝金 講師謝金 477,500 957,500 備品購入費 O 0 支払寄付金 雑費 3,850 242,500 被災者支援ほか その他経費計 536,004 2.359.000 事業費計 2,359,000 536.004 2. 管理費 (1)(管理)人件費 (管理)役員報酬 0 28,800 0 事務手当 (管理)給料手当 (管理)法定福利費 0 0 (管理)福利厚生費 0 0 (管理)人件費計 0 28.800 (2)(管理)その他経費 5,000 総会費 (管理)会議費 0 (管理)旅費交通費 0 (管理)消耗品費 327 10,000 インク、紙、封筒等 (管理)賃借料 法人事務所家賃 19.500 13,200 80.000 携带·宅配·FAX (管理)通信費 52.330 (管理)印刷費 0 20,000 コピー代 (管理)保険料 n n (管理)講師謝金 5,000 0 (管理)備品購入費 n 0 (管理)雑費 1.005 2.000 振込手数料 (管理)その他経費計 78,162 130,200 管理費計 78,162 159,000 経常費用計 614,166 2,518,000 当期経常増減額 402,584 -1,437,000 Ⅲ 経常外収益 1. 雑収益 6,000 0 0 経常外収益計 Ⅳ 経常外費用 1. 雑損益 66,000 30,000 30,000 未収会費損金 経常外費用計 (資格喪失5名) 30,000 当期正味財産増減額 342,584 -1.467,000前期繰越正味財産額 6,007,790 6,350,374

6,350,374

次期繰越正味財産額

4,883,374

~
溪
状況)(
歯益の
料(事業別損益
Km/
活動予算書説明資
予算
度活動
22年
202

6066十亿亿利了并	/ 퓨터 매명.	スナンナス	4分に 単くで	1									-		
事業名勘定科目	①防災意識の 民防災力向上	①防災意識の普及啓発・市 民防災カ向上に関する事業	②防災ホランティアコ 養成に関する	(7コーディネーター する事業	③防災活	③防災活動に取り組む団体・個人との連携や支援に	体・個人との連	[携や支援に関	関する事業	④防災にかか	④防災にかかわる調査、研究及び政策提 言に関する事業		⑤被災者の 自立を支援 する事業		
1 2 m	1)県内外へ の防災講座 への講師派 遺事業	2)市町・社協 等防炎/ボラ ソティア養成 事業アドバイ ザー派遣 (※1)	1)災害ボラン ティア協働 コーディネー ター講座事業 (※2)	2)みえ災害ボ ランティア支 援センター幹 事団体向け 勉強会	1)会員向け、 県民向け情 報提供事業	2)県外地域と30交流・連携3事業 (※3)	3)他分野NPO との協働事業 (※4)	4)会員同士 の交流促進 検討 (※5)	5) 大 大 カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ	1)みえ災害ボ ランティア支 援センターの あり方検討事 業	2)県域協働P 構築に向け た調査・検討 事業 (※6)	3)市町域協働P構築に向けた調査・検けた調査・検討・参画事業	1)近隣・地元 での災害に おける支援事 業 (※7)	管理部門	恒
I 経常収益															
1. 受取会費															
①正会員受取会費														216,000	216,000
②賛助会員受取会費															0
2. 受取寄付金															
①受取寄付金														10,000	10,000
3. 受取助成金等															
(1)受取民間助成金															0
4. 事業収益															
①事業収益	625,000	150,000	80,000												855,000
5. その他収益															
①受取利息															0
②雑収益															0
経常収益計	625,000	150,000	80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226,000	1,081,000
T 経常費用															
1. 事業費															
(1)人件費															
給料手当														28,800	28,800
法定福利費															0
福利厚生費															0
人件費計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,800	28,800
(2)その他経費															
会議費						20,000								5,000	25,000
旅費交通費	25,000	15,000	10,000		10,000			20,000	5,000	10,000	10,000	10,000	000'009		715,000
消耗品費										5,000		5,000	200,000	10,000	220,000
賃借料			12,000	2,000				12,000		20,000		20,000		13,200	82,200
通信費			16,000		16,000	10,000				5,000	5,000	5,000		80,000	137,000
印刷費			20,000	3,000	20,000			20,000		5,000	10,000	10,000		20,000	108,000
保険料															0
講師謝金	300,000	67,500	120,000		20,000		240,000	000'09		80,000	20,000	50,000			957,500
備品購入費															0
支払寄付金															
雑費		200	2,000		4,000	10,000	8,000	8,000		5,000		5,000	200,000	2,000	244,500
その他経費計	325,000	83,000	180,000	8,000	70,000	40,000	248,000	120,000	5,000	130,000	45,000	105,000	1,000,000	130,200	2,489,200
経常費用計	325,000	83,000	180,000	8,000	70,000	40,000	248,000	120,000	5,000	130,000	45,000	105,000	1,000,000	159,000	2,518,000
当期経常増減額	300,000	67,000	-100,000	000'8-	-70,000	-40,000	-248,000	-120,000	-2,000	-130,000	-45,000	-105,000	-1,000,000	67,000	-1,437,000
	R3実績相当	3市町社協 R3実績×3	4回開催 旅費減額	R3予算相当	年4回 旅費減額	R3予算相当 <sup>2</sup>	4分野 783実績相当 7	ZOOM使用料 ( ブロック予算 F	伊賀市VC R2予算相当		R3予算相当		R3予算相当 F	R2予算相当	
		1							:						